自然エネルギー信州ネットと連携している
ネットワーク型地域協議会

エネルギーの地産地消の主役は「地域協議会」です。
地域の特性を活かした、市民参加型の自然エネルギー普及と
持続可能な地域づくりに取り組みます。

「地域協議会」は「自然エネルギー信州ネット」と連携・協働する
独立した組織で、運営はそれぞれの協議会に委ねられています。

ネットワーク型地域協議会

**地域での情報交換、交流を図りながら
自然エネルギーの普及・啓発を促進**

ネットワーク型
長野北信地域協議会

設立	平成23年11月17日
代表者	松岡　保正　（国立長野高専環境都市工学科　教授）
事務局	NPO法人　CO2バンク推進機構　（長野市）

活動目標

長野・北信地域住民への自然エネルギーの普及啓発
ならびに自然エネルギー普及モデルの構築。

◆普及啓発◆
「自然エネルギー学校」や「エネルギーカフェ」を展開。
自然エネルギーを暮らしに取り入れるきっかけとなる体験の「場」を提供して、
認知と関心を高めていく。

◆普及モデル構築◆
長野・北信地域で実践活動しているグループで検討部会を構成し、地域特性を活かした普及モデルの調査検討に取り組む。平成23年度は自然エネルギーを地域住民に普及させていくために、普及啓発拠点をモデル的に作り、パネルやチラシ等の展示を行い、他地域の参考になる普及モデルを提案する。

23年度の主な活動実績

■アイデア出しブレーンストーミング（H23.12.17）

長野高専に長野北信地域協議会会員が集まり普及モデルづくりをテーマにアイデア出しを行った。カードを使ったKJ法により「知りたいこと」「提供できること」「情報発信したい場」を抽出し、各会員の有する情報の共有化が行われた。

■おひさま進歩エネルギー㈱原代表を囲んでのエネルギー・カフェ（H24.2.14）

長野市の中心部にある「権堂まちづくりセンター」1階カフェにて、市民の誰もが気軽に参加できるエネルギー・カフェを開催。トークゲストのおひさま進歩エネルギー（株）原代表から、飯田市での市民参加によるしくみづくりの話や環境価値についてなどを聞きながら、参加者同士で語り合う場となった。

ネットワーク型
自然エネルギー上小ネット

設立	平成24年2月4日
代表者	末広　繁和 （ブレイクスルー研究会）
事務局	ブレイクスルー研究会 （上田市）

活動目標

【ミッション（使命）】
①地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及を図る。
②自然エネルギーを活用した地産地消、CO2削減の啓発活動で持続可能な地域づくりを目指す。
【ビジョン（構想）】
①上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用のビジョン作成、活用事業の支援を行う。
②CO2削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。

- ●上田市情報ライブラリーと連携して、エネルギーカフェを展開
  - ・情報提供スタンド設置
  - ・情報交流会、学習会開催
  - ・自然エネルギーに関する無料相談会開催
- ●人材育成とモデル事業の研究

23年度の主な活動実績

■設立総会（H24.2.4）

■第1回　情報交流会
「上小地域の自然エネルギーの可能性」バイオマス編

上田駅前「パレオ」上田情報ライブラリー4Fセミナールームにて、第1回情報交流会を開催。
バイオマスをテーマに、「森林整備と薪利用」についての事例講演や「バイオマス事業の実態調査報告」を行った。

後半はワールドカフェ方式で、「地域でできるかも知れない自然エネルギーはあるか？」について、考えを出し合い
活発な意見交換が行われた。

ネットワーク型
自然エネルギーネットまつもと

設立	平成24年2月15日
代表者	平島安人(信州気候フォーラム)
事務局	個人2名以上で担当

活動目標

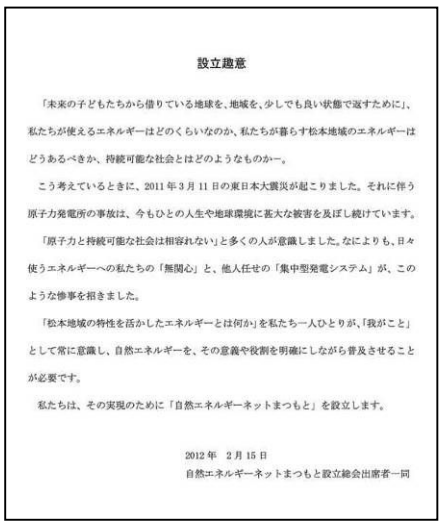
自然エネルギー信州ネットと連携し、地域の多様な主体と連携・対話を図りながら、
地域資源を活用した協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した
持続可能な地域づくりに資することを目的とする。

松本地域において、次に掲げる事業を行う。
(1) 地域で自然エネルギーに取り組む個人・事業者・団体・組織のネットワーク化と情報交換
(2) 地域のエネルギーに関する調査・研究及び提言
(3) 地域におけるエネルギーに関する課題の検討・啓発
(4) 地域における自然エネルギー普及モデルの検討
(5) その他、ネットまつもとの目的を達成するために必要な事業

23年度の主な活動実績

■松本地域学習会（H23.10.6）
■第1回設立準備会(H23.11.24）
■第2回設立準備会（H23.12.20）
■第3回設立準備会（H24.1.24）

協議会の設立趣意について、会員と丁寧な議論を積み重ね
以下の趣意書を作成し、設立総会を迎えた。



設立趣意

「未来の子どもたちから借りている地球を、地域を、少しでも良い状態で返すために」、私たちが使えるエネルギーはどのくらいなのか、私たちが暮らす松本地域のエネルギーはどうあるべきか、持続可能な社会とはどのようなものか―。

こう考えているときに、2011年3月11日の東日本大震災が起こりました。それに伴う原子力発電所の事故は、今もひとの人生や地球環境に甚大な被害を及ぼし続けています。

「原子力と持続可能な社会は相容れない」と多くの人が意識しました。なによりも、日々使うエネルギーへの私たちの「無関心」と、他人任せの「集中型発電システム」が、このような惨事を招きました。

「松本地域の特性を活かしたエネルギーとは何か」を私たち一人ひとりが、「我がこと」として常に意識し、自然エネルギーを、その意義や役割を明確にしながら普及させることが必要です。

私たちは、その実現のために「自然エネルギーネットまつもと」を設立します。

2012年　2月15日
自然エネルギーネットまつもと設立総会出席者一同

■設立総会(H24.2.15）

ネットワーク型
自然エネルギー佐久地域協議会
（新エネ普及佐久ネット）

設立	平成24年2月15日
代表者	加藤　三喜夫（新興マタイ株式会社　取締役事業部長）
事務局	新興マタイ株式会社　環境エネルギー事業部

活動目標

市民団体、企業、大学、個人、行政などで構成するフラットでオープンな組織。
専門部会を設置して、個別のテーマについて調査研究を行う。

①地域住民への自然エネルギーの普及啓発
②地域における自然エネルギーの事業化に関する調査研究
③自然エネルギー普及モデルの検討
④自然エネルギー普及モデルの運営支援および事業実施・管理
⑤その他、本協議会が定める業務

23年度の主な活動実績

■学習会（H24.9.1）

■設立準備会（H24.1.23）

■設立総会（H24.2.15）

ネットワーク型
自然エネルギー信州ネットSUWA

設立	平成23年11月4日
代表者	沖野　外輝夫（諏訪湖クラブ　会長、信州大学　名誉教授）
事務局	諏訪湖クラブ（諏訪市）

活動目標

全県的組織である自然エネルギー信州ネットと連携し、長野県諏訪地域内において、地域資源を活用した、公・民協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに向けて、あらゆる主体と連携・対話を図りながら、総合的な調整と実践的な活動を行なうことを目的としています。

23年度の主な活動実績

■運営委員会（H23.12.7、H24.1.7、H24.2.6、H24.3.6）毎月1回開催
会の運営、企画に関する議題を運営委員（現在25名）を中心に討議し、
諏訪地域への自然エネルギー普及を目指す。

■設立総会　H23.11.4

■交流会・勉強会（H24.1.28）
会員が所属するグループ（12団体）の活動内容を紹介し、
諏訪地域での自然エネルギー普及状況についての情報を共有し、
今後の連携、目標についてグループ・トークを行った。

■講演会・上映会
「ミツバチの羽音と地球の回転」（グループ現代）上映会を諏訪市駅前市民会館で開催
（諏訪湖クラブ主催）（H23.10.1）

茅野市民館での設立総会に併せて、MEGAMI　MUSICによる光合成ライブ、
手回しオルゴール演奏会を行い、飯田哲也氏（環境エネルギー政策研究所・所長）による講演
「3・11後の日本のエネルギー戦略～地域からの変革～」を開催。
会場には会員以外の参加者も多く集まり、自然エネルギー普及・啓発に寄与した。（H23.11.4）

「第4の革命～エネルギー・デモクラシー」上映会と
講演「長野県に於ける自然エネルギー推進施策」中島恵理氏（長野県環境部温暖化対策課長）を
岡谷市イルフ・プラザで開催、会員以外の参加者を含めて自然エネルギーの普及・啓発に努めた。（H24.3.3）

■「信州ネットSUWA」ホームページの立ち上げ
会員相互の情報交換の場として、また信州ネットSUWAの活動を公開する場として
ホームページを作成中。
http://snet.suwa.jp/

■自然エネルギー普及・啓発プラットフォームの構築
諏訪圏域で自然エネルギー普及活動を行っている民間団体と行政、企業とが
連携・協働してこれからの自然エネルギー普及活動を行っていくために、
「自然エネルギー普及プラットフォーム」の構築を進めている。

ネットワーク型
上伊那地域自然エネルギー普及協議会

設立	平成23年12月26日
代表者	岡野哲郎 （信州大学農学部副学部長　教授）
事務局	上伊那森林組合　木質バイオマスエネルギー室

活動目標

上伊那地域住民への自然エネルギーの普及啓発並びに自然エネルギー普及モデルの構築

◆普及啓発
上伊那地域の自然エネルギーの普及を考える学習会
小水力発電と木質バイオマスエネルギーについてわかりやすいセミナーを開催。

◆普及モデル構築
上伊那地域の特性を生かした普及モデルの調査検討に取り組む。
平成23年度は特に木質バイオマスエネルギーを農業用ハウスで利用するために調査検討を行い、他地域の参考になるモデルを提案する。

23年度の主な活動実績

■設立総会（H23，12，26）

発起人である小澤氏の議事進行により
第1号議案から第5号議案について協議され、
上伊那地域自然エネルギー普及協議会が設立。

■上伊那地域の自然エネルギーの普及を考える学習会（H24，2，25）

伊那商工会議所に上伊那地域自然エネルギー普及協議会会員が集まり
「小水力発電のことはじめ」と「木質バイオマスエネルギーのすすめ」
各会員との情報交換が行われた。

ネットワーク型
南信州自然エネルギー普及協議会

設立	平成24年2月15日
世話人	平澤和人（NPOいいだ自然エネルギーネット山法師）、 原亮弘（NPO南信州おひさま進歩）
事務局	おひさま進歩エネルギー株式会社

活動目標

南信州地域の自然エネルギーの利用拡大およびネットワーク化による持続可能な地域づくり

23年度の主な活動実績

自然エネルギーに関する普及啓発、調査研究、情報交換を行う。
H23年度はH23.9.13に設立に向けた学習会を行った後、H24.2.15 に会を設立した。
実際の具体的な活動はH24年度とする。

■学習会（H23/9/13）

■設立総会（H24/2/15）